

# どう使われたか、私たちの

# 税金、議員が総点検

## 歳入

**問 収入未済額が増加した。収納率向上へどのように取り組んだのか。**

**税務課長** 納付相談により固定資産税を月払いにすることで231件で約2,700万円収納できた。また、会計年度任用職員3名が未納者を約6,300件訪問し、約1,100件で約4,200万円収納できた。収入未済額が増えた主な理由はコロナの影響で猶予制度の利用があったためだと考えている。

**問 マイナンバーカードの普及促進の成果は。**

**住民課長** 2年度の発行枚数は、3,684枚で、前年度の枚数より2,976枚増えた。無料の写真撮影、申請書記入の手伝い、休日窓口の開設などが普及につながったと考えている。

## 安全・安心

**問 青パト（青色回転灯装備車）による防犯パトロールに約1,600万円支出しているが効果は。また、年々犯罪件数が減少している状況で継続するか検討したのか。**

**地域課長** 学校や住民からの要望に応じて子どもたちの下校時刻となる午後3時からパトロールを開始し、子どもたちの見守りに効果を上げている。継続については今後、調査、研究していく。



松原東公園付近の防犯カメラ

**問 防犯カメラ設置工事約225万円の3か所の設置場所は。**

**地域課長** 議会から危険性が指摘された町道2号線（高根坂）の頂上部分、住民要望のあった松原東公園付近、警察から依頼のあった富士山栗原新田の八高線ガード付近に設置した。工事費や申請費など1か所当たり約57万円である。

## コロナ対策

**問 在宅勤務等の促進のため、ふれあいセンターにサテライトルームを開設したが実績は。**

**福祉課長** リモートでの授業、就業や入学試験、面接などに必要なwi-fi環境の個室を確保し、3年1月から開始した。会社員や学生など54人が利用した。

**問 中小企業などの事業継続のため、町独自で82件、1,640万円を給付しているが、支給後に事業継続が困難になって廃業や事業を縮小した事業者はいるか。**

**産業課長** 国の持続化給付金に該当しない事業者を救う目的で実施した。申請要件を今後の事業継続としており、現在まで廃業、倒産したといった話は商工会からは聞いていない。

## 福祉・健康

**問 2年度からスタートした、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の実績は。**

**高齢者福祉課長** 多様な問題を抱える高齢者に対して、効率的かつ、きめ細やかな支援のため、各種データを活用し、保健事業と介護予防を一体的に行った。2年度は個別的支援として健康状態不明者12名、また、老人クラブ、認知症カフェなど14か所を巡回し、相談を受けたり、健康教育を実施した。

**問 2年度に高齢者のインフルエンザワクチン接種を無償化した成果は。**

**健康課長** 接種率では、前年度37.1%に対して60.5%と大きく増加した。

## 産業

**問 農地の創出・再生支援事業費補助金の内容と成果は。**

**産業課長** 認定農業者が荒廃した農地を購入して再生する取り組みへの支援事業。お茶畑を別の作物の栽培に利用できるように、茶の木の伐根や霜取り用の送風機の撤去などの費用を支援した。今後は、その農地を活用しキャベツやサツマイモなどを栽培していく。農業経営規模の拡大や遊休農地の解消などにも効果があった。

## まちづくり

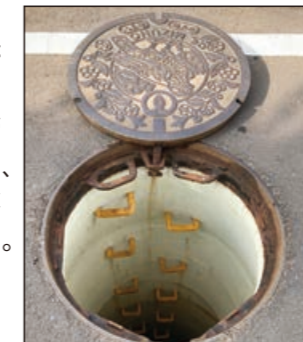
**問 栗原地区土地区画整理事業は、組合設立準備会総会により方針変更が確認され、地権者などの合意を3月までに得ると報告があったが実績は。また、都との交渉は。**

**都市計画課長** 住居系主体から、一部住居系を含む産業系の土地利用に方向転換しており、都と協議の上、了解も得た。今後も地権者の意向を踏まえまちづくりを積極的に行えるよう、都との協議を継続して実施する。

**問 元狭山地域の不明水対策工事实施設計900万円、不明水対策工事費約8,100万円を支出しているが、工事内容と進捗率は。**

**都市計画課下水道担当主幹**

人孔内の補修を21か所と人孔調査6か所、管渠部分の補修を162か所、直径400mm管の補修工事を37.35m実施している。2年度の工事進捗率は46.8%である。



下水などの管渠を補修するための人孔（マンホール）

## 子育て

**問 移動児童館事業を前年度より80回増やし、合計で205回実施したがその成果は。**

**子育て応援課長** 対象を0歳児にも拡大し、期間限定保育は開館時間を1時間延長するなど工夫をした。利用者数は対前年度で27人増となった。実施を待っている方もいて、移動児童館が非常に浸透してきたと考えている。

**問 公園の安全対策の実績は。**

**建設課長** 36公園、197基の遊具を点検した。ブランコのつり部材を交換し安全を確保した。また、31か所の砂場の清掃・消毒を年6回実施した。



## 防災

**問 災害用の備蓄薬品の購入内容は。**

**健康課長** 医師・薬剤師と相談し、263人が3日程度使用できる量の薬剤を備蓄した。内容は、鎮静剤、去たん剤、解熱鎮痛消炎剤、止瀉薬（下痢止め）、強心剤、血圧降下剤など49種類である。



保健センターで備蓄されている災害用薬品

**問 防災協定は拡充したか。**

**住民部参事** 6社と協定を結んだ。バス、電力、燃料、物流企業のほか、葬祭関係企業と非常時の備品の提供、段ボールベッド企業と供給に関する協定を締結した。

## 教育

**問 新事業「学びのテーマパーク」の内容と成果は。教育指導課統括指導主事**

家庭学習の一部を放課後の学校で行い、児童生徒が選択した学習課題に取り組み、国語・算数・数学を中心に1時間程度行う事業。成果は学習時間が増加したことである。また、自分で学習課題を設定して解くことで、目的意識を持って調べるといった成果もあった。その他、ノートまとめコンクールでは誤字脱字も減り、正しい言葉で書く習慣が身に付いてきた。

**問 ふるさと学習「みずほ学」の改善への取組みは。教育指導課長**

中学校の職場体験を「みずほ学」に位置付けると共に、過去や現在の郷土についてを主とした学習から、町の未来について創造する学習にも取り組むようにした。学校、保護者、地域など町全体で行うことを強く意識し、発信に取り組んでいる。

評事  
価業  
評価対象となった事業  
(P8・P9 参照)

評事  
価業